

におい成分の一斉分析

ガスクロマトグラフィー質量分析器を用いたにおい成分の同定

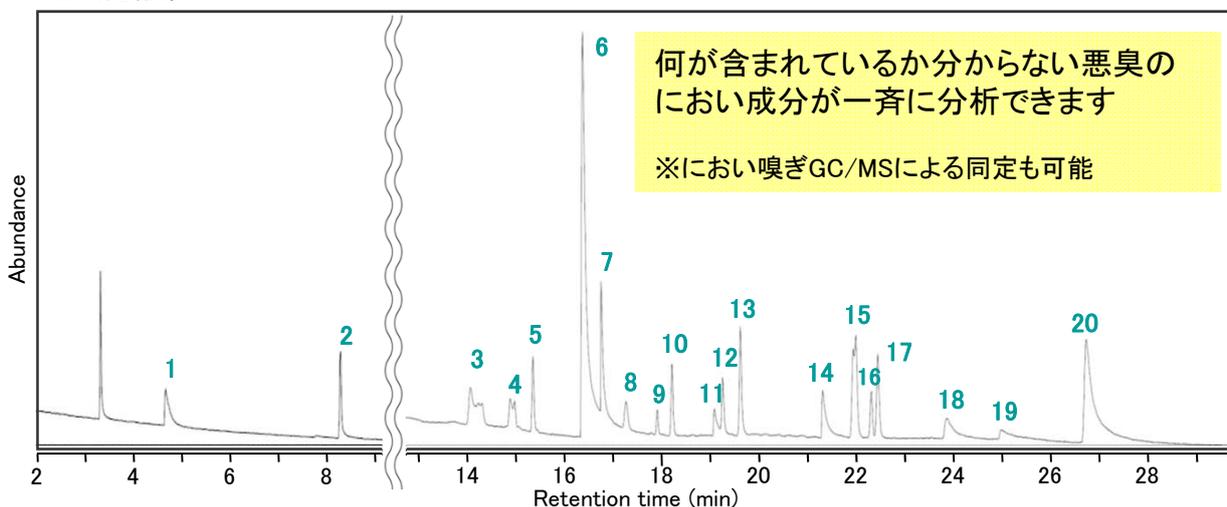
測定法 : GC/MS
 製品分野 : 食品・環境・化粧品
 分析目的 : 製品調査・組成評価・同定

概要

においは、人に快感を与える「匂い」や不快感を与える「臭い」など、様々な表現で日常的に使われています。においは、1種類のにおい成分として存在することは少なく、種々のにおい成分が混ざり合った状態で存在します。これら複合的なにおいを可視化するには、ガスクロマトグラフィー質量分析器(GC/MS)を用いた機器分析が有効です。本資料では、におい成分分析の流れと、悪臭を一斉に分析した事例をご紹介します。

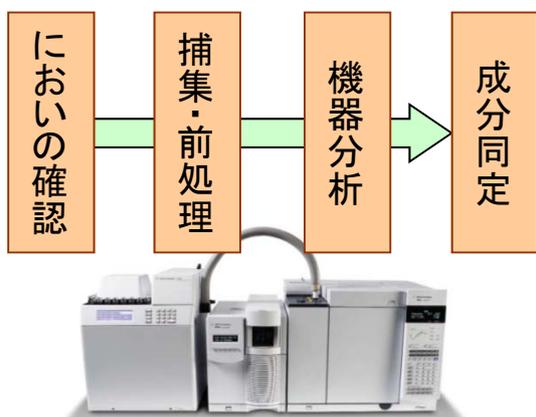
データ

■測定結果



1 硫化水素	2 メチルメルカプタン	3 2-メチルプロパナール	4 ブタナール	5 酢酸エチル
6 イソブタノール	7 酢酸	8 3-メチルブタナール	9 ペンタナール	10 二硫化メチル
11 プロピオン酸	12 トルエン	13 メチルイソブチルケトン	14 ブタン酸	15 キシレン
16 スチレン	17 硫化アリル	18 イソ吉草酸	19 n-吉草酸	20 フェノール

■におい分析の流れ



■応用例

正常品と異臭品の比較分析

食品の異臭原因を調査



香料の成分分析

香り成分の同定および濃度評価



VOC測定

空気中の汚染の度合いを評価

VOC: 揮発性有機化合物



分析サービスで、あなたの研究開発を強力サポート！